

贈る言葉

中京大学経営学部長 中 村 雅 章

小川英次先生は、2007年3月をもって中京大学を退職されました。先生は、1994年4月に経営学部教授として着任され、翌95年には中京大学で初めての昼夜開講制の大学院経営学研究科初代研究科長を務められました。2000年4月からは中京大学学長として大学改革に強力なリーダーシップを発揮されたことは記憶に新しいところです。多忙な学長職の傍ら、社会人実践教育のための独立大学院ビジネス・イノベーション研究科の開設（2003年4月）、同研究科MBAコースに加え中小企業診断士コースの新設（2007年4月）にも主導的な役割を果たされました。

小川先生のご功績、ご貢献をたたえ、本合併号を退職記念号として編集し、謹んで献呈させていただきます。中京大学総長・理事長の梅村清弘先生、ならびに経営学部の初代学部長であった三戸公先生からも巻頭言をいただき、経営学会として厚く御礼申し上げます。本号から「中京経営研究」は研究成果の一層の充実、発展を期して装丁を一新しました。先生の退職記念号に花を添えることになれば大変うれしく思います。

小川先生は、我が国が誇る経営学研究の第一人者であり、とくに生産管理論、中小企業経営論の領域において大きな足跡を残されました。巻末にまとめられているように、膨大な業績は高く評価され、学会、産業界を始め多方面に大きな影響を与え続けています。例えば、先生がご興味、関心を持たれて精力的に取り組まれた研究テーマの一つに技術のマネジメントがあり、今日では産学界を巻き込んでブームともいえる状況を生み出しています。社会的にも、日本中小企業学会の会長を始め、政府、地方自治体の各種委員会、審議会、戦略会議の委員長など要職を数多く歴任され、多大な貢献を果たしてこられたことは改めていうまでもないことです。

小川先生は、教育、研究に掛ける情熱だけでなく、その温厚で誠実なお人柄ゆえに、名古屋大学の教官時代から多くのゼミ生、社会人に慕われ、敬愛されてきました。先生はどんな相手でも正面から向き合い、丁寧かつ真摯に対応されます。人の言うことに進んで耳を傾けられ、口元に少し笑みをたたえつつ、鋭く核心に切り込まれるのでした。豊かな学識と紳士的な態度をお持ちの先生は、自ら範を示す形で有為な人材を数多く世の中に送り出されてきました。

中京大学では、学部教育はもとより、経営学研究科では複数の博士号取得者を指導されるなど、教育者、研究者として学生への影響力は計り知れないものがありました。私たち教職員に対しても公私にわたり有益な助言を賜り、その存在は大変大きなものがありました。幸い、先生は引き続き梅村学園学術顧問として私達の身近なところで相談に乗っていただけたということで、これほど心強いことはありません。先生のご活躍の節目にあたり、経営学部、経営学会を代表いたしまして、感謝の言葉をお贈りさせていただきます。

小川英次先生、本当に長い間、中京大学、そして経営学部のためにご尽力いただき誠にありがとうございました。先生のますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。